

2002年 5月12日 主日礼拝 (母の日)

司 会 ①三浦兄 ②関口兄 ③浜田兄

奏 楽 聖歌607  
賛 美  
使徒信条

主の祈り

賛 美 聖歌540(主イエスをほめよ)  
祈 禱 ①水間兄 ②多田兄 ③高木師

聖 書 ①ヨハネによる福音書14章1～17節  
②ルカによる福音書23章32～43節  
③ルカによる福音書5章1～11節

音 楽 ①遠藤恵子姉 ②③関口M&D

メッセージ ①『 ドント・ウオーリー 』 石井潤 伝道師  
②『 待ち合わせ場所と目印 』 倉知契 伝道師  
③『 おびたしいのに驚いた 』 小崎淳広 副牧師

賛 美 明日はどんな日か(献金)  
祝 禱

## 【大和ニュース】

- ・大川牧師夫妻は、昨日までトロントでご奉仕され、今日からケベックです。土曜日に帰国されますのでお祈りください。
- ・来週はペンテコステです。深い祈りをもって備えましょう。今週の祈禱会は、特別集会で、ケーラー先生です。ご期待ください。
- ・本日は「母の日」。お母さん、ありがとうございます。
- ・本日、入門講座Ⅱ、子聖、ドルカス会、手話、学生、FBI、囲碁、青年、SS主任、GM、ゴスペルクルーあり。
- ・聖書基礎講座は、火曜日10:30より。講師は武井先生。シャローム館にて。無料。
- ・深夜祈禱会は、ビデオ聖会です。金曜夜8時より。
- ・今週の家集会は、田名(水曜10:30)、立野台(金曜13:30)、相模原矢部(金曜13:30)。お祈り下さい。
- ・土曜礼拝は、夜8時～9時。倉知先生が説教です。



私はカトリックの作家、曾野綾子さんを、プロテスタント作家の三浦綾子さん研究に負けないほど学んで来たつもりである。特にその人間洞察には、学ぶことが多くある。ここに最新本からの引用をご紹介します。

私の中には、母から受け継いだ、几帳面にしなければならないという律儀さと、結婚してから夫から教えられたずぼらさの必要性が、全く対立したまま潜んでいる。几帳面に生きるということは何より人に迷惑をかけない。几帳面な人ばかりだったら、警察も銀行も税務署もずっと仕事が減るだろう。一方でずぼらな人というのは、小さな迷惑を人にかける。我が家の夫婦ゲンカの80パーセントまでは、夫が、無責任に約束をすっぽかすとか、説明したことをちゃんと聞いていないとかいうことである。

しかしずぼらな人は、人が支離滅裂な言動をしても少しも怒らない。それがその人の性格なのだから、理由はよく分からないがそれがその人の選んだ生き方なのだから、それが相手の美学なのだから、それはそれでどうぞ、という感じである。決して理解しているわけでもないし、温かい心で見守っているという感じでもない。むしろ、人の人生なんだ、どうして他人が口を出すことがある、という突き放した見方である。

しかし、こういう生き方だと、相手を深く非難するということもない。

私大川の中には、18世紀のウェスレーとホーリネスの影響から几帳面さ(メソジズム)と長い牧会生活から、ずぼらを認める姿勢とが混在している。教会員が1200人もいと、極端な几帳面屋さんも、考えられないほどのズボラさんもおられ、人間牧師を養い鍛えてくれた。どちらも主に愛されているが、私の願いは、いつも恵みの深みを知ってほしいことである。

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう!

Aコース: ヨハネ4章～6章 Bコース: II列王4章～22章